

令和8年度 須賀川東部地域包括支援センター事業計画

I. 運営方針

○地域包括ケアの推進

地域の特性や実情を踏まえ、地域住民が抱える課題を把握し、保健・医療・福祉サービスのみならず、近隣住民の助け合い等の地域力を含めたあらゆる社会資源と連携を図り、地域包括ケア推進のため、その中核機関としての役割が果たせるよう積極的に取り組む。

○専門職によるチームアプローチ、関係者との連携

主に包括的支援事業に係る業務を担当する保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員を配置し、これら専門職が専門性を活用しながら相互に連携協働する「チームアプローチ」を実践することで、困難事例や地域課題に対応する。さらに、地域の医療・保健・福祉の専門職、民生委員、自治会・町内会、社会福祉協議会、ボランティア等の関係者との連携を図りながら活動する。

○公正性、中立性の確保

市の介護・福祉行政の一翼を担う「公益的な機関」であることを認識するとともに、その運営に関する費用は、保険料や国、県、市の公費により賄われていることを十分に理解し、公正かつ中立性の高い事業運営を行う。

II. 事業計画

1. 総合相談支援業務

高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、地域の身近な総合相談窓口としての機能の充実を図る。

(1) 総合相談支援

地域において安心して相談できる拠点としての役割を果たすため、センターの三職種が情報を共有し、市や関係機関ともに適切に連携が図れる関係づくりに努め、様々な相談内容について総合的に対応する。また、包括支援センターの知名度の向上を図る。

(2) 家族介護者への相談支援体制の充実

介護する家族への経済的、精神的負担を緩和することができるよう、日ごろから、地域資源等に関する情報収集を行う。また、家族介護者への離職防止に向けて、身近な相談機関として家族介護者の相談にのるなど、適切な情報等の提供を行う。

2. 権利擁護業務

複数の問題を抱えたまま生活する高齢者が、自らの権利を理解し、安心して住み慣れた地域で生活できるように、専門性に基づいて支援を行う。

(1) 成年後見制度の活用促進

認知症などにより判断能力の低下が見られる場合に、適切な介護サービス利用や金銭管理、法的行為などの支援のため、市の「成年後見支援センター」と協働し、成年後見制度の活用を図るとともに、制度の普及啓発に努める。

(2) 高齢者虐待の防止及び対応

市の「高齢者虐待対応マニュアル」に基づき、速やかに当該高齢者の状況を把握し、市と連携を図りながら迅速に適切な対応を行う。

(3) 困難事例への対応

困難事例（複数の課題がある、支援拒否など）を把握した場合は、実態把握の上、センターの各専門職と連携して対応策を検討する。また、市とも連携を図り、適切な対応を行う。

(4) 消費者被害の防止への対応

地域団体・関係機関との連携のもと、消費者被害情報の把握を行い、情報提供と適切な対応により被害を未然に防ぐように支援する。

3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、医療機関、施設、在宅を通じた地域における包括的・継続的なケアマネジメントを実施するため、医療機関と協力するとともに、地域の介護支援専門員と医療機関との連携を支援する。

(1) 包括的・継続的なケア体制の構築

施設・在宅を通じた地域における包括的・継続的なケアを実施するため、関係機関との連携を構築するとともに、地域の介護支援専門員と関係機関との連携を支援する。また、地域の介護支援専門員が介護保険サービス以外の様々な社会資源を活用できるよう、地域の連携、協力体制を整備する。

(2) 介護支援専門員に対する支援

① 日常的個別指導・相談

介護支援専門員へ、専門的な見地からの個別指導や相談への対応を行う。

② 支援困難事例への指導・助言

介護支援専門員が抱える困難事例について、具体的な支援方針を検討し、指導助言等を行うなど介護支援専門員が自らの解決能力を高め、困難な事例の解決の糸口を見出し、必要な連携・協力・支援を作り出せるように後方支援を行う。

4. 介護予防・日常生活支援総合事業

地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を継続することができるようにするため、本人ができることはできる限り本人が行うことを基本とし、本人の意欲・能力を引き出し、自信を深めることにより、主体的な活動と生活の質を高めることを目指す。

(1) 介護予防ケアマネジメント

介護予防・日常生活支援総合事業において、要支援認定者、総合事業対象者に対して介護予防及び日常生活支援を目的とし、心身状況や、置かれている環境、その他の状況に応じて、訪問型サービスや通所型サービス等適切なサービスが包括的かつ効果的に提供されるよう必要な支援を行う。

5. 在宅医療・介護連携の推進業務

医療と介護の両方が必要な状態になっても住み慣れた地域で安心して自分らしい生活ができるよう、病院等から在宅療養への移行時に、円滑に在宅サービスにつなぐことや、在宅生活を長く継続していくために、多様なサービス提供ができるよう支援を行う。

地域に根差した医療と福祉の充実のため、うつみね診療所との連携強化を図る。

6. 認知症施策の推進業務

認知症の人ができる限り住み慣れた良い環境で暮らし続けることができるよう、地域の実情に応じて医療機関、介護サービス事業所や地域の支援機関をつなぐ連携支援や認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行う。

(1) 地域の集まりに出向き、認知症予防や認知症への理解を深められるよう、普及啓発を行う。

(2) 誰もが参加できる「ぼんぼこカフェ」(認知症カフェ)の開催を継続していく。認知症の方やその家族、地域住民、専門職の人などが気軽に集える場を提供する。

(3) 認知症伴走型支援事業への協働・連携を通し、認知症の方とその家族の地域での生活を支援していく。

7. 生活支援サービス体制の整備業務

社会参加に意欲のある元気な高齢者等が、地域での担い手となり住民同士がともに支え合う地域づくりを目指せるよう、人材育成、活動の場へのマッチング等が行える体制を整備する。また、地域全体で多様な主体によるサービス提供を推進するため、地域のニーズや資源の状況把握を行う。

8. 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

高齢者本人の介護や医療の相談支援だけではなく、経済的な課題や就労、精神疾患、8050 やダブルケアなどの複数の課題を持つ世帯に対して、「重層的支援体制整備事業」と協働・連携を図りながら、問題解決の解決に向け支援を行う。介護サービスに限らず、地域の保健・福祉・医療サービスなどが連携できるような体制を整備する。

9. 地域ケア会議の実施

包括的・継続的ケアマネジメント支援業務の効果的な実施のために、個別ケースの検討を通して、介護支援専門員の高齢者の自立支援に資するケアマネジメントの支援、個別課題や社会資源の現状把握、地域課題の解決に向けたネットワークの構築、社会資源の開発、地域づくりを図る。

個別ケースの検討により共有された地域課題を地域づくりや政策形成に着実に結び付けていくことで、市が取り組む地域包括ケアシステムの構築に向けた施策の推進にもつながることから、市と地域包括支援センターが緊密に連携し、かつ役割分担を行いながら取り組みを推進する。

10. 自立支援型地域ケア会議

市が主催する、自立支援型地域ケア会議において、事例提供者として会議の構成員となり、多職種が協働して支援内容を検討することで、利用者の生活行為の課題解決や自立支援の促進、QOL の向上を図る。

11. 会合・研修など

- ・地域包括支援センター運営協議会議への出席
- ・地域密着型介護サービス運営推進会議への出席
- ・その他業務に関連する会議・研修等への出席

12. 災害時の対応

市の方針、センターの役割に則って、他機関とも連携しつつ迅速に対応する。

災害時は市の指示に従い、他の包括支援センターとも協力し対応する。日頃から、市や関係機関との連携を図る。

令和8年度 はっぴいチャイルド事業計画

(児童発達支援／放課後等デイサービス)

I 基本方針

発達障がい児への療育・支援を行うことで社会一般への知識の普及を図り地域社会の一員として暮らせる社会の実現に寄与することを目的とし、児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業を行う。

II 重点目標

(1) 支援内容の充実

- ・個々の障がい特性の理解と障がいの受容を基本とした関りをする。
- ・支援計画（相談支援授業所作成）を元に個別支援計画を作成し、モニタリング見直し・評価を繰り返し実施する。
- ・ソーシャルスキルトレーニングを通して社会性を身につける。
- ・コミュニケーションの基礎を学ぶためペーパー学習で言葉のやり取りを学ぶ。
- ・アナログゲームを一緒に行い話しかけ、褒め、認めることで自信に繋げる。

(2) 関係機関との連携

- ・ケース会議、担当者会議、モニタリング会議などを必要に応じて開催する。
- ・幼稚園・特別支援学校・小中学校・保健師・相談事業所・他事業所・自立支援協議会・役所等関係機関と連携を図り、障がい児に対する支援と児童発達支援事業の質の向上に努める。

(3) 保護者への支援の構築

- ・障がいの特性や子育てに関するアドバイス・相談支援を行う。
- ・児童の課題や活動状況の報告を丁寧に心がけて行う。
- ・保護者参加の『おしゃべり会』を偶数月に開催し、育児の相談や家庭での療育の方法だけでなく将来を見据えた学習を行う。繋がりを深める。
- ・必要に応じ事業所内相談、家庭連携支援を取り入れ家庭へのサポート体制強化。
- ・会報『はっぴいチャイルド通信』の発行（毎月A4サイズ配布・HPにも掲載）
- ・LINEを活用し療育の様子を写真・動画で確認していただく。またご自宅での様子なども見せていただくことで療育に役立てている。

(4) 職員の増員（パート）

- ・療育やソーシャルスキルの充実、また平日の外部研修を受けやすくするため。
- ・長期休暇（夏休み等）の日中一時利用児増加に対応するためのパート職員の雇用。

(5) 定例会・職員会議・研修の充実

- ・利用者に関する支援内容の検討、情報共有し理解を深める。
- ・施設見学や対外的な研修に参加し知識を深めより良い支援に繋げる。
- ・今年度より外部の教材を活用し、研修や運営サポートを行う。

(LITALICO発達ナビ導入)

III 年間活動計画

未就学児支援時間 9:00~13:00 身辺自立を中心に。

学童支援時間 14:00~17:00 コミュニケーションや気持ちの整理を中心に。

2024年より5領域『健康・生活』『運動・感覚』『認知・行動』『言語・コミュニケーション』『人間関係・社会性』という視点を踏まえて具体的な支援プログラムを計画、実施することが義務化され、当事業所でも実践しています。

未 就 学 児	個別支援	課題・おやつ・弁当・身辺自立・制作・生活・遊び・ジャスパー（個別遊び）
	集団支援	朝の会・帰りの会・感覚遊び・ゲーム・誕生会・運動・SST（未就学用） ジャスパー・お楽しみ会・避難訓練・知育パズル・季節の行事など

学 童	個別支援	課題・身辺自立・制作・自由選択遊び・生活・SST・知育パズル
	集団支援	ゲーム・運動・おやつ・誕生会・お楽しみ会・グループ活動（買い物学習・SST） 避難訓練・季節の行事など

IV 療育の仕方・目的

- ・自閉症対応 目で見て分かる支援。カードを使い登所から降所まで何をして過ごすのかがわかるシステム。カード支援を理解、経験することで緊急時や人が困っている状況の時、文字や絵カードの視覚からの情報でパニックにならないようにする。

令和7年度利用者（R8年2月現在）

放課後等デイサービス19名／児童発達支援8名 計27名

1日の利用者放課後等デイサービス5名／児童発達支援：計10名

支援学校5名／支援クラス17名／普通クラス1名

令和8年度 にじいろ事業計画

(日中一時支援)

I 目的

- ・障がいのある児童を日常的に介護している家族の一時的な休息の確保及び障がい者家族の就労を支援する。
- ・障がいのある児童の日中における一時的な活動の場を提供し安全に見守る。

II 活動

- ・基本は見守りの支援。支援時間 8:30~18:00
- ・挨拶・おやつ・自主学習(宿題)・室内遊び(折り紙・工作・パズル・ぬりえかるた・トランプ・季節に応じた遊び)制作・おやつ作り・テレビ・DVD鑑賞等。

III 重点目標

- ・保護者や学校と連携を取りながら支援する。
- ・安全 安心を心がけ、トラブルのないように過ごす。
- ・はっぴいチャイルドと連携を取りながら支援をする。
- ・活動内容を丁寧にお知らせする。
- ・1日の利用者が定員に満たないため、利用者増を目指す。
- ・LINEなどを活用し保護者の急な依頼にも対応できるようにする。

令和7年度
契約者 14名
1日の利用定員 5名／現在の利用1~3名
長期休み5名

令和8年度うつみね福祉会児童クラブ館 年間計画

定例会		研修関係、安全委員会		7館交流委員会、広報委員会	
日程	場所	内容	場所	内容	場所
4月16日(木) 10:00~11:30	二小児童クラブ館				
4月17日(金) 11:00~12:00		児童クラブ館全体会	二小児童クラブ館		
5月7日(木) 13:00~13:30		第1回安全委員会(ヒヤリハット事例等)	各館(リモート会議)	広報・ホームページ係会	各館(リモート会議)
5月7日(木) 13:00~13:30				第1回児童クラブ館交流実行委員会	各館(リモート会議)
5月14日(木) 10:00~11:30	二小児童クラブ館				
5月22日(金) 10:00~11:30		救命救急法研修会1	須賀川消防署		
5月26日(火) 13:00~14:00		全体職員研修「運営指針part7」13:00	各館(リモート)		
5月28日(木) 10:00~11:30		救命救急法研修会2	須賀川消防署		
6月11日(木) 13:00~14:00		第1回初任研「運営指針part1」	各館(リモート)		
6月16日(火) 13:00~13:50		全体研修「発達障害児等について」13:00	各館(リモート研修)		
6月18日(木) 10:00~11:30	白江児童クラブ館				
6月25日(木) 13:00~14:00		第2回初任研「運営指針part2」	各館(リモート)		
7月1日(水) 10:00~11:30		レクリエーション研修	大東地域体育館		
7月2日(木) 10:00~11:30				第2回児童クラブ館交流実行委員会	二小児童クラブ館
7月14日(火) 10:00~11:30		第1回ヒヤリハット事例の検討・アンケート内容の検討	二小児童クラブ館		
7月16日(木) 10:00~11:30	白方児童クラブ館				
8月27日(木) 10:00~11:30	大東児童クラブ館				
8月31日(月) ~ 9月7日(月)		○児童・保護者アンケート週間	各館安全委員会		

9月3日(木) 10:00~11:30				第3回児童クラブ 館交流実行委員会	円谷幸吉メモリ アルアリーナ
9月15日(火) 9:00~9:50	二小児童クラブ館			※自己評価(個人)	
9月15日(火) 10:00~11:30		ワールドカフェ研修 会	二小児童クラブ館		
9月26日(土) 8:00~13:00				「児童クラブ館交 流会」	円谷幸吉メモリ アルアリーナ
9月29日(火) 13:30~14:30		第3回初任研 「運営指針part3」	柏城児童クラブ館		
10月7日(水) 10:00~11:30		三浦DRの講話	二小児童クラブ館	※館長面談(10 月上旬)	
10月13日(火) 13:30~14:30		第4回初任研 「運営指針part4」	柏城児童クラブ館		
10月15日(木) 10:00~11:30	柏城児童クラブ館				
10月20日(火) 10:00~11:30				第4回児童クラブ 館交流実行委員会	二小児童クラブ館
10月22日(木) 13:30~14:30		第5回初任研 「運営指針part5・6」	柏城児童クラブ館		
11月5日(木) 10:00~11:30		第2回ヒヤリハット事 例の検討	二小児童クラブ館		
11月19日(木) 10:00~11:30	二小児童クラブ館				
12月17日(木) 10:00~11:30	柏城児童クラブ館				
1月14日(木) 10:00~11:30	二小児童クラブ館			※自己評価(個人)	
1月21日(木) 13:00~13:50		第1回認定資格・資 質向上研修等報告 会	各館(リモート研修)	館長面談(1月下旬)	
2月18日(木) 10:00~11:30	柏城児童クラブ館				
2月25日(木) 13:00~13:50		第2回認定資格・資 質向上研修等報告 会	各館(リモート研修)		
3月4日(木) 10:00~11:30		第3回ヒヤリハット事 例の検討	二小児童クラブ館	※自己評価(児 童クラブ館)	
3月18日(木) 10:00~11:30	二小児童クラブ館				

令和 8 年度 事業計画書

児童クラブ館名	柏城児童クラブ
---------	---------

支援単位数 5

1 開設予定

支援単位	A	B	C	D	E	合計
平日	241 日	241 日	241 日	241 日	241 日	1,205 日
土曜日	51 日	51 日	51 日	51 日	51 日	255 日
合計	292 日	292 日	292 日	292 日	292 日	1,460 日

2 人員配置・育成計画

(1) 人員配置計画

支援単位 A	①放課後児童支援員	2 人 (内訳: 常勤 2 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	1 人 (内訳: 常勤 1 人, 非常勤 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)

支援単位 B	①放課後児童支援員	2 人 (内訳: 常勤 2 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	1 人 (内訳: 常勤 1 人, 非常勤 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)

支援単位 C	①放課後児童支援員	2 人 (内訳: 常勤 2 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	2 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 2 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)

支援単位 D	①放課後児童支援員	2 人 (内訳: 常勤 2 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	1 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 1 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)

支援単位 E	①放課後児童支援員	2 人 (内訳: 常勤 2 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	1 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 1 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)

(2) 人材育成計画

研修名	実施予定月日	対象者	内容
全体研修会 1 「救命救急法」	令和8年5月22日	児童支援員	心肺蘇生法、アレルギー・誤嚥等救急時の対応について
全体研修会 2 「職場倫理」	令和8年5月26日	児童支援員	職場倫理と保護者への対応等について
初任者研修1 「運営指針part1」	令和8年6月11日	児童支援員	児童クラブ館とは、健全育成事業の役割等
全体研修会 3 「発達障がい」	令和8年6月16日	児童支援員	発達障がい児の理解と対応等について
初任者研修2 「運営指針part2」	令和8年6月25日	児童支援員	健全育成事業の対象となる子どもの発達
全体研修会 4 「レクリエーション」	令和8年7月1日	児童支援員	アイスブレイクゲーム、ボンチャ、カーリング、モルック
第1回安全委員会	令和8年7月14日	児童支援員	1期分のヒヤリハット事例を持ち寄り、対応を検討する
全体研修会 5 「事例検討会」	令和8年9月15日	児童支援員	事例を元に、ワークシート方式でメンバーを代え話し合う
令和8年度特別支援教育研修会	令和8年9月29日	児童支援員	特別支援教育支援員としての資質向上を図る
初任者研修3 「運営指針part3」	令和8年10月1日	児童支援員	放課後児童クラブにおける育成支援の内容
全体研修会 6 「ヒヤリハット対応」	令和8年10月7日	児童支援員	うつみね診療所所長よりヒヤリハット時の対応の仕方を学ぶ
初任者研修4 「運営指針part4」	令和8年10月13日	児童支援員	障がいのある子どもへの対応

第2回安全委員会	令和8年11月5日	児童支援員	2期分のヒヤリハット事例を持ち寄り、対応を検討する
初任者研修5「運営指針part5・6」	令和8年10月13日	児童支援員	運営、学校・地域との関係、衛生管理・安全対策等
福島県放課後児童支援員認定資格研修	令和8年11月ころ	児童支援員	放課後児童支援員をする上で必要な知識、技能を取得する
福島県放課後児童支援員等資質向上研修	令和8年12月ころ	児童支援員	初任者・中堅・専門研修等を受け、資質向上を図る。
全体研修会7「研修等報告会1」	令和9年1月21日	児童支援員	認定資格研修、資質向上研修等の内容を全員で共有する
全体研修会8「研修等報告会2」	令和9年2月25日	児童支援員	認定資格研修、資質向上研修等の内容を全員で共有する
第3回安全委員会	令和9年3月4日	児童支援員	3期分のヒヤリハット事例を持ち寄り、対応を検討する

※認定資格研修、資質向上研修のほか、独自に実施した研修、他の団体主催の研修への参加予定についても記入。

6 利用者評価・自己評価の実施予定

(1) 利用者評価

実施予定の有無		有				
調査予定月日	回答者	回答方法	結果の周知・公表	評価結果の周知・公表先		
9月1日～7日	保護者	回答用紙の提出	予定している	<input checked="" type="checkbox"/> 職員	<input checked="" type="checkbox"/> 児童・保護者	<input checked="" type="checkbox"/> 外部(地域など)
9月1日～7日	児童	回答用紙の提出	予定している	<input checked="" type="checkbox"/> 職員	<input checked="" type="checkbox"/> 児童・保護者	<input checked="" type="checkbox"/> 外部(地域など)
				<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部(地域など)
				<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部(地域など)

(2) 自己評価

実施予定の有無		有				
調査予定月日	回答者	回答方法	結果の周知・公表	評価結果の周知・公表先		
令和8年9月30日	支援員	回答用紙の提出	予定していない	<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部(地域など)
令和9年1月29日	支援員	回答用紙の提出	予定していない	<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部(地域など)
令和9年3月6日	主任支援員	回答用紙の提出	予定している	<input checked="" type="checkbox"/> 職員	<input checked="" type="checkbox"/> 児童・保護者	<input checked="" type="checkbox"/> 外部(地域など)
				<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部(地域など)

7 特記事項

特になし

令和 8 年度 事業計画書

児童クラブ館名	須賀川二小児童クラブ
---------	------------

支援単位数 4

1 開設予定

支援単位	A	B	C	D	E	合計
平日	241 日	241 日	241 日	241 日	0 日	964 日
土曜日	01 日	01 日	01 日	01 日	0 日	204 日
合計	292 日	292 日	292 日	292 日	0 日	1,168 日

2 人員配置・育成計画

(1) 人員配置計画

支援単位 A	①放課後児童支援員	2 人 (内訳: 常勤 2 人, 非常勤 0 人)
	②補助員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	③障がい児専門員	1 人 (内訳: 常勤 1 人, 非常勤 0 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)

支援単位 B	①放課後児童支援員	2 人 (内訳: 常勤 2 人, 非常勤 0 人)
	②補助員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	③障がい児専門員	1 人 (内訳: 常勤 1 人, 非常勤 0 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)

支援単位 C	①放課後児童支援員	2 人 (内訳: 常勤 2 人, 非常勤 0 人)
	②補助員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	③障がい児専門員	1 人 (内訳: 常勤 1 人, 非常勤 0 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)

支援単位 D	①放課後児童支援員	2 人 (内訳: 常勤 2 人, 非常勤 0 人)
	②補助員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	③障がい児専門員	1 人 (内訳: 常勤 1 人, 非常勤 0 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)

支援単位 E	①放課後児童支援員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	②補助員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	③障がい児専門員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)

(2) 人材育成計画

研修名	実施予定月日	対象者	内容
全体研修会 1 「救命救急法」	令和8年5月22日	児童支援員	心肺蘇生法、AED・顕微鏡等救急時の対応について
全体研修会 2 「職場倫理」	令和8年5月26日	児童支援員	職場倫理と保護者への対応等について
初任者研修 1 「運営指針part1」	令和8年6月11日	児童支援員	児童クラブ館とは、健全育成事業の役割等
全体研修会 3 「発達障がい」	令和8年6月16日	児童支援員	発達障がい児の理解と対応等について
初任者研修 2 「運営指針part2」	令和8年6月25日	児童支援員	健全育成事業の対策となる子どもの発達
全体研修会 4 「フリースタイル」	令和8年7月1日	児童支援員	アイスブレイクゲーム、ボッチャ、カーリング、モルック
第1回安全委員会	令和8年7月14日	児童支援員	1期分のヒヤリハット事例を持ち寄り、対応を検討する
全体研修会 5 「事例検討会」	令和8年9月15日	児童支援員	事例を元に、7-47方式でのバーを代え話し合う
令和8年度特別支援教育研修会	令和8年9月29日	児童支援員	特別支援教育支援員としての資質向上を図る
初任者研修 3 「運営指針part3」	令和8年10月1日	児童支援員	放課後児童クラブにおける育成支援の内容
全体研修会 6 「ヒヤリハット対応」	令和8年10月7日	児童支援員	うつみね診療所所長よりヒヤリハット時の対応の仕方を学ぶ

初任者研修4「運営指針part4」	令和8年10月13日	児童支援員	障がいのある子どもへの対応
第2回安全委員会	令和8年11月5日	児童支援員	2期分のヒヤリハット事例を持ち寄り、対応を検討する
初任者研修5「運営指針part5・6」	令和8年10月13日	児童支援員	運営、学校・地域との関係、衛生管理・安全対策等
福島県放課後児童支援員認定資格研修	令和8年11月ころ	児童支援員	放課後児童支援員をする上で必要な知識、技能を取得する
福島県放課後児童支援員等資質向上研修	令和8年12月ころ	児童支援員	初任者・中堅・専門研修等を受け、資質向上を図る。
全体研修会7「研修等報告会1」	令和9年1月21日	児童支援員	認定資格研修、資質向上研修等の内容を全員で共有する
全体研修会8「研修等報告会2」	令和9年2月25日	児童支援員	認定資格研修、資質向上研修等の内容を全員で共有する
第3回安全委員会	令和9年3月4日	児童支援員	3期分のヒヤリハット事例を持ち寄り、対応を検討する

※認定資格研修、資質向上研修のほか、独自に実施した研修、他の団体主催の研修への参加予定についても記入。

3 危機管理計画

(1) 計画・マニュアル策定状況

計画・マニュアル名	策定状況		
安全計画	<input type="checkbox"/> 令和	年策定予定	<input checked="" type="checkbox"/> 策定済み
防災・防犯マニュアル	<input type="checkbox"/> 令和	年策定予定	<input checked="" type="checkbox"/> 策定済み
事故・ケガ防止マニュアル	<input type="checkbox"/> 令和	年策定予定	<input checked="" type="checkbox"/> 策定済み
苦情対応マニュアル	<input type="checkbox"/> 未策定		<input checked="" type="checkbox"/> 策定済み

上記以外で今年度策定予定の計画・マニュアル

計画・マニュアル名	内容

(2) 訓練計画

ア 防災・防犯訓練

訓練名	種別	実施予定月日	内容
交通安全・雨の日の歩き方	事故等防止	6月9日	雨の日の危険を知り、安全な歩き方を学ぶ。
避難訓練	防災	11月27日	館内での火災を想定して行う。
交通安全・雪道の歩き方	事故等防止	1月29日	積雪や凍結路面の危険を知り、安全な歩き方を学ぶ。
避難訓練	防災	3月13日	地震の際の行動や身を守る事の大切さについて学ぶ。

イ その他訓練

訓練名	実施予定月日	内容

4 施設管理計画

(1) 保守・点検計画

設備等	再委託	再委託事業者	実施予定月日または頻度					備考
警備設備	日常	無		毎月				職員による点検
	定期	有	アルソック警備保障	7月				
消防設備	日常	無		月1				職員による点検
	定期	有	アルソック警備保障	9月	2月			
電気工作物	日常	無		月1				職員による点検
	定期							
冷暖房機器	日常	無		毎日				職員による点検
	定期	有	東北エアエス					
事務機器等	日常	無		月1				職員による点検
	定期							

(2) 修繕計画

該当箇所・設備	欠損・不具合等の内容	修繕事業者	工事期間等	修繕費見込み	備考
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
合計額				0 円	

5 自主事業計画

(1) 業務や施設運営管理の効率化・負担軽減等に関するもの

内容	導入予定月日	導入予定機器等	導入後期待できる効果
入退室管理システム導入	告知7年度 導入済み	GAKUDOU	児童の入退室を一つにする事で職員の負担軽減が図られる

(2) 児童や保護者、地域住民を対象としたサービス・行事等に関するもの

事業名	実施予定月日	対象者	費用の概算	内容
弁当注文	2月10日～26日	保護者	あり	長期休養期間限定で、弁当注文を安値で付ける
入館式	4月6日	新入館児童・保護者	なし	新入館児童・保護者が参加しての入館式
4月誕生会・新入館児を祝う会	4月24日	児童	なし	誕生児インタビューと1年生紹介
5月誕生会	5月29日	児童	なし	誕生児インタビューと出し物
子ども会議（お楽しみ会の計画）	6月9日	児童	なし	5年生中心にお楽しみ会の計画
6月誕生会	6月26日	児童	なし	誕生児インタビュー・ゲーム
奉仕作業1期	6月27日	保護者・児童	なし	保護者による館内の清掃作業
夏タ・冊子制作	7月12日	児童	なし	夏タの冊子を作成し、空欄に貼る
7月誕生会	7月10日	児童	なし	誕生児インタビュー・ゲーム
お楽しみ会	7月17日	児童	なし	高学年企画のお楽しみ会
夏祭り	8月1日	児童	なし	模擬祭りを親子で楽しむ
夏休み工作	8月4日	児童	なし	工作を楽しむ
校外学習（ムシタンク）	8月6日・7日	児童	なし	地域の施設を利用して社会性を身につける
お買い物おやつ	8月21日	児童	なし	店員を演じ、お買い物を楽しむ
8月誕生会	8月28日	児童	なし	誕生児インタビュー・ゲーム
歌をのり紙手紙作成	9月1日～11日	児童	なし	祖父母に感謝の気持ちを伝える紙手紙の作成
お月見・9月誕生会	9月18日	児童	なし	月見の話・誕生児インタビュー・ゲーム
10月誕生会	10月16日	児童	なし	誕生児インタビュー・ゲーム
ハロウィンパーティー	10月30日	児童	なし	高学年企画のお楽しみ会
勤労感謝の日制作	11月9日～12日	児童	なし	保護者への感謝を込め、写真立ての制作
11月誕生会	11月20日	児童	なし	誕生児インタビュー・ゲーム

クリスマス会	12月23日	児童	なし	高学年企画のお楽しみ会
カルタ大会・お年玉抽選会	1月8日	児童	なし	学年ごとのカルタ大会・抽選会
だんごさし・1月誕生会	1月22日	児童	なし	1年の幸せを願いみずきの木に飾り付け
節分・2月誕生会	2月3日	児童	なし	豆まき、ゲーム
ひな祭り・3月誕生会	3月3日	児童	なし	ひな祭りの白糸、ゲーム
お楽しみ会	3月19日	児童	なし	高学年企画のお楽しみ会
奉仕作業2期	3月27日	保護者・児童	なし	館内清掃・新年度準備

6 利用者評価・自己評価の実施予定

(1) 利用者評価

実施予定の有無						
調査予定月日	回答者	回答方法	結果の周知・公表	評価結果の周知・公表先		
9月1日～7日	保護者	回答用紙の提出	予定している	<input checked="" type="checkbox"/> 職員	<input checked="" type="checkbox"/> 児童・保護者	<input checked="" type="checkbox"/> 外部（地域など）
9月1日～7日	児童	回答用紙の提出	予定している	<input checked="" type="checkbox"/> 職員	<input checked="" type="checkbox"/> 児童・保護者	<input checked="" type="checkbox"/> 外部（地域など）
				<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部（地域など）
				<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部（地域など）

(2) 自己評価

実施予定の有無		有				
調査予定月日	回答者	回答方法	結果の周知・公表	評価結果の周知・公表先		
令和8年9月30日	支援員	回答用紙の提出	していない	<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部（地域など）
令和9年1月29日	支援員	回答用紙の提出	していない	<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部（地域など）
令和9年3月6日	主任支援員	回答用紙の提出	している	<input checked="" type="checkbox"/> 職員	<input checked="" type="checkbox"/> 児童・保護者	<input checked="" type="checkbox"/> 外部（地域など）
				<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部（地域など）

7 特記事項

特になし

令和 8 年度 事業計画書

児童クラブ館名	白方児童クラブ
---------	---------

支援単位数 1.5

1 開設予定

支援単位	A	B	C	D	E	合計
平日	241 日	0 日	0 日	0 日	0 日	241 日
土曜日	61 日	0 日	0 日	0 日	0 日	61 日
合計	292 日	0 日	0 日	0 日	0 日	292 日

2 人員配置・育成計画

(1) 人員配置計画

支援単位 A	①放課後児童支援員	3 人 (内訳: 常勤 3 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	1 人 (内訳: 常勤 1 人, 非常勤 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)

支援単位 B	①放課後児童支援員	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)

支援単位 C	①放課後児童支援員	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)

支援単位 D	①放課後児童支援員	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)

支援単位 E	①放課後児童支援員	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 人, 非常勤 人)

(2) 人材育成計画

研修名	実施予定日	対象者	内容
全体研修会 1 「救命救急法」	令和8年5月22日	児童支援員	心肺蘇生法、AED、誤嚥等救急時の対応について
全体研修会 2 「縦横倫理」	令和8年5月26日	児童支援員	職場倫理と保護者への対応等について
初任者研修1 「運営指針part1」	令和8年6月11日	児童支援員	児童クラブ館とは、健全育成事業の役割等
全体研修会 3 「発達障がい」	令和8年6月16日	児童支援員	発達障がいの理解と対応等について
初任者研修2 「運営指針part2」	令和8年6月25日	児童支援員	健全育成事業の対象となる子どもの発達
全体研修会 4 「119コール」	令和8年7月1日	児童支援員	アイスブレイクゲーム、ボッチャ、カーリング、モルック
第1回安全委員会	令和8年7月14日	児童支援員	1期分のヒヤリハット事例を持ち寄り、対応を検討する
全体研修会 5 「事例検討会」	令和8年9月15日	児童支援員	事例を元に、ワークシート方式でケースを代え話し合う
令和8年度特別支援教育研修会	令和8年9月29日	児童支援員	特別支援教育支援員としての資質向上を図る
初任者研修3 「運営指針part3」	令和8年10月1日	児童支援員	放課後児童クラブにおける育成支援の内容
全体研修会 6 「H190対応」	令和8年10月7日	児童支援員	うつみず診療所所長よりH190時の対応の仕方を学ぶ
初任者研修4 「運営指針part4」	令和8年10月13日	児童支援員	障がいのある子どもへの対応
第2回安全委員会	令和8年11月5日	児童支援員	2期分のヒヤリハット事例を持ち寄り、対応を検討する
初任者研修5 「運営指針part5-6」	令和8年10月13日	児童支援員	運営、学校・地域との関係、衛生管理・安全対策等
福島県放課後児童支援員認定資格研修	令和8年11月ころ	児童支援員	放課後児童支援員をする上で必要な知識、技能を修得する
福島県放課後児童支援員等資質向上研修	令和8年12月ころ	児童支援員	初任者・中堅・専門研修等を受け、資質向上を図る。
全体研修会 7 「研修等報告会 1」	令和9年1月21日	児童支援員	認定資格研修、資質向上研修等の内容を全員で共有する
全体研修会 8 「研修等報告会 2」	令和9年2月25日	児童支援員	認定資格研修、資質向上研修等の内容を全員で共有する

第3回安全委員会	令和9年3月4日	児童支援員	3期分のヒヤリハット事例を等々符り、対応を検討する

※認定資格研修、資質向上研修のほか、独自に実施した研修、他の団体主催の研修への参加予定についても記入。

3 危機管理計画

(1) 計画・マニュアル策定状況

計画・マニュアル名	策定状況		
安全計画	<input type="checkbox"/> 令和	年策定予定	<input checked="" type="checkbox"/> 策定済み
防災・防犯マニュアル	<input type="checkbox"/> 令和	年策定予定	<input checked="" type="checkbox"/> 策定済み
事故・ケガ防止マニュアル	<input type="checkbox"/> 令和	年策定予定	<input checked="" type="checkbox"/> 策定済み
苦情対応マニュアル	<input type="checkbox"/> 未策定		<input checked="" type="checkbox"/> 策定済み

上記以外で今年度策定予定の計画・マニュアル

計画・マニュアル名	内容

(2) 訓練計画

ア 防災・防犯訓練

訓練名	種別	実施予定月日	内容
防災教室(火事)	防災	11月27日	プロジェクター使用し、動画で災害発生時の対処の仕方を学ぶ
避難訓練(地震)	防災	3月12日	避難訓練を通して命の大切さを学ぶ

イ その他訓練

訓練名	実施予定月日	内容
交通安全教室(雨の日の歩き方)	6月5日	雨の日の歩き方や、傘の持ち方・さし方についてお話をする。
交通安全教室(雪道の歩き方)	1月22日	雪道の歩き方について正しい知識を得る

4 施設管理計画

(1) 保守・点検計画

設備等	再委託	再委託事業者	実施予定月日または頻度					備考
警備設備	日常	無		毎日				職員による点検
	定期	有	ALSON福島(株)					
消防設備	日常	無		随時				職員による点検
	定期	無						
電気工作物	日常	無		随時				職員による点検
	定期	無						
冷暖房機器	日常	無		毎日				職員による点検
	定期	有	東北エアコン・須賀川ガス					
事務機器等	日常	無		随時				
	定期	無						

6 利用者評価・自己評価の実施予定

(1) 利用者評価

実施予定の有無						
調査予定月日	回答者	回答方法	結果の周知・公表	評価結果の周知・公表先		
9月1日～7日	保護者	回答用紙の提出	予定している	<input checked="" type="checkbox"/> 職員	<input checked="" type="checkbox"/> 児童・保護者	<input checked="" type="checkbox"/> 外部（地域など）
9月1日～7日	児童	回答用紙の提出	予定している	<input checked="" type="checkbox"/> 職員	<input checked="" type="checkbox"/> 児童・保護者	<input checked="" type="checkbox"/> 外部（地域など）
				<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部（地域など）
				<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部（地域など）

(2) 自己評価

実施予定の有無						
調査予定月日	回答者	回答方法	結果の周知・公表	評価結果の周知・公表先		
令和8年9月30日	文芸員	回答用紙の提出	していない	<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部（地域など）
令和9年1月29日	支援員	回答用紙の提出	していない	<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部（地域など）
令和9年3月6日	主任支援員	回答用紙の提出	している	<input checked="" type="checkbox"/> 職員	<input checked="" type="checkbox"/> 児童・保護者	<input checked="" type="checkbox"/> 外部（地域など）
				<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部（地域など）

7 特記事項

特になし

令和 8 年度 事業計画書

児童クラブ館名	白江児童クラブ
---------	---------

支援単位数 1

1 開設予定

支援単位	A	B	C	D	E	合計
平日	241 日	0 日	0 日	0 日	0 日	241 日
土曜日	51 日	0 日	0 日	0 日	0 日	51 日
合計	292 日	0 日	0 日	0 日	0 日	292 日

2 人員配置・育成計画

(1) 人員配置計画

支援単位 A	①放課後児童支援員	2 人 (内訳: 常勤 2 人, 非常勤 0 人)
	②補助員	1 人 (内訳: 常勤 1 人, 非常勤 0 人)
	③障がい児専門員	1 人 (内訳: 常勤 1 人, 非常勤 0 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)

支援単位 B	①放課後児童支援員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	②補助員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	③障がい児専門員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)

支援単位 C	①放課後児童支援員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	②補助員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	③障がい児専門員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)

支援単位 D	①放課後児童支援員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	②補助員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	③障がい児専門員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)

支援単位 E	①放課後児童支援員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	②補助員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	③障がい児専門員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)

(2) 人材育成計画

研修名	実施予定月日	対象者	内容
全体研修会 1 「救命救急法」	令和8年5月22日	児童支援員	心肺蘇生法、AED・異物等救急時の対応について
全体研修会 2 「職場倫理」	令和8年5月26日	児童支援員	職場倫理と保護者への対応等について
初任者研修1「運営指針part1」	令和8年6月11日	児童支援員	児童クラブ館とは、健全育成事業の役割等
全体研修会 3 「発達障がい」	令和8年6月16日	児童支援員	発達障がい児の理解と対応等について
初任者研修2「運営指針part2」	令和8年6月25日	児童支援員	健全育成事業の対象となる子どもの発達
全体研修会 4 「レクリエーション」	令和8年7月1日	児童支援員	アイスブレイクゲーム、ボッチャ、カーリング、モルック
第1回安全委員会	令和8年7月14日	児童支援員	1期分のヒヤリハット事例を持ち寄り、対応を検討する
全体研修会 5 「事例検討会」	令和8年9月15日	児童支援員	事例を元に、ワットカフェ方式でメンバーを代え話し合う
令和8年度特別支援教育研修会	令和8年9月29日	児童支援員	特別支援教育支援員としての資質向上を図る
初任者研修3「運営指針part3」	令和8年10月1日	児童支援員	放課後児童クラブにおける育成支援の内容
全体研修会 6 「ヒヤリハット対応」	令和8年10月7日	児童支援員	うつみね診療所所長よりヒヤリハット時の対応の仕方を学ぶ

初任者研修4「運営指針part4」	令和8年10月13日	児童支援員	障がいのある子どもへの対応
第2回安全委員会	令和8年11月5日	児童支援員	2期分のヒヤリハット事例を持ち寄り、対応を検討する
初任者研修5「運営指針part5・6」	令和8年10月13日	児童支援員	運営、学校・地域との関係、衛生管理・安全対策等
福島県放課後児童支援員認定資格研修	令和8年11月ころ	児童支援員	放課後児童支援員をする上で必要な知識、技能を取得する
福島県放課後児童支援員等資質向上研修	令和8年12月ころ	児童支援員	初任者・中堅・専門研修等を受け、資質向上を図る。
全体研修会7「研修等報告会1」	令和9年1月21日	児童支援員	認定資格研修、資質向上研修等の内容を全員で共有する
全体研修会8「研修等報告会2」	令和9年2月25日	児童支援員	認定資格研修、資質向上研修等の内容を全員で共有する
第3回安全委員会	令和9年3月4日	児童支援員	3期分のヒヤリハット事例を持ち寄り、対応を検討する

※認定資格研修、資質向上研修のほか、独自に実施した研修、他の団体主催の研修への参加予定についても記入。

誕生会	1月29日	児童	なし	1月生まれの誕生会
節分	2月3日	児童	なし	自分の中にある鬼を追い出す
なわとび大会	2月12日	児童	なし	種目を決め、跳んだ回数を競う
誕生会	2月26日	児童	なし	2月生まれの誕生会
誕生会	3月12日	児童	なし	3月生まれの誕生会
お楽しみ会	3月19日	児童	なし	ゲームを楽しむ

6 利用者評価・自己評価の実施予定

(1) 利用者評価

実施予定の有無	有					
調査予定月日	回答者	回答方法	結果の周知・公表	評価結果の周知・公表先		
9月1日～7日	保護者	回答用紙の提出	予定している	<input checked="" type="checkbox"/> 職員	<input checked="" type="checkbox"/> 児童・保護者	<input checked="" type="checkbox"/> 外部（地域など）
9月1日～7日	児童	回答用紙の提出	予定している	<input checked="" type="checkbox"/> 職員	<input checked="" type="checkbox"/> 児童・保護者	<input checked="" type="checkbox"/> 外部（地域など）
				<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部（地域など）
				<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部（地域など）

(2) 自己評価

実施予定の有無	有					
調査予定月日	回答者	回答方法	結果の周知・公表	評価結果の周知・公表先		
令和8年9月30日	支援員	回答用紙の提出	していない	<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部（地域など）
令和9年1月29日	支援員	回答用紙の提出	していない	<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部（地域など）
令和9年3月6日	主任支援員	回答用紙の提出	している	<input checked="" type="checkbox"/> 職員	<input checked="" type="checkbox"/> 児童・保護者	<input checked="" type="checkbox"/> 外部（地域など）
				<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部（地域など）

7 特記事項

特になし

令和 8 年度 事業計画書

児童クラブ館名	大東児童クラブ
---------	---------

支援単位数 2

1 開設予定

支援単位	A	B	C	D	E	合計
平日	241 日	241 日	0 日	0 日	0 日	482 日
土曜日	51 日	51 日	0 日	0 日	0 日	102 日
合計	292 日	292 日	0 日	0 日	0 日	584 日

2 人員配置・育成計画

(1) 人員配置計画

支援単位 A	①放課後児童支援員	2 人 (内訳: 常勤 2 人, 非常勤 0 人)
	②補助員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	③障がい児専門員	1 人 (内訳: 常勤 1 人, 非常勤 0 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)

支援単位 B	①放課後児童支援員	2 人 (内訳: 常勤 2 人, 非常勤 0 人)
	②補助員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	③障がい児専門員	2 人 (内訳: 常勤 2 人, 非常勤 0 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)

支援単位 C	①放課後児童支援員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	②補助員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	③障がい児専門員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)

支援単位 D	①放課後児童支援員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	②補助員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	③障がい児専門員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)

支援単位 E	①放課後児童支援員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	②補助員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	③障がい児専門員	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	④その他 ()	0 人 (内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)

(2) 人材育成計画

研修名	実施予定月日	対象者	内容
全体研修会 1 「救命救急法」	令和8年5月22日	児童支援員	心肺蘇生法、AED・誤嚥等救急時の対応について
全体研修会 2 「職場倫理」	令和8年5月26日	児童支援員	職場倫理と保護者への対応等について
初任者研修 1 「運営指針part1」	令和8年6月11日	児童支援員	児童クラブ館とは、健全育成事業の役割等
全体研修会 3 「発達障がい」	令和8年6月16日	児童支援員	発達障がい児の理解と対応等について
初任者研修 2 「運営指針part2」	令和8年6月25日	児童支援員	健全育成事業の対象となる子どもの発達
全体研修会 4 「レクリエーション」	令和8年7月1日	児童支援員	アイスブレイクゲーム、ボッチャ、カーリング、モルック
第1回安全委員会	令和8年7月14日	児童支援員	1期分のヒヤリハット事例を持ち寄り、対応を検討する
全体研修会 5 「事例検討会」	令和8年9月15日	児童支援員	事例を元に、ワーカー方式でW/Cを代え話し合う
令和8年度特別支援教育研修会	令和8年9月29日	児童支援員	特別支援教育支援員としての資質向上を図る
初任者研修 3 「運営指針part3」	令和8年10月1日	児童支援員	放課後児童クラブにおける育成支援の内容
全体研修会 6 「ヒヤリハット対応」	令和8年10月7日	児童支援員	うつみね診療所所長よりヒヤリハット時の対応の仕方を学ぶ

初任者研修4「運営指針part4」	令和8年10月13日	児童支援員	障がいのある子どもへの対応
第2回安全委員会	令和8年11月5日	児童支援員	2期分のヒヤリハット事例を持ち寄り、対応を検討する
初任者研修5「運営指針part5・6」	令和8年10月13日	児童支援員	運営、学校・地域との関係、衛生管理・安全対策等
福島県放課後児童支援員認定資格研修	令和8年11月ころ	児童支援員	放課後児童支援員をする上で必要な知識、技能を取得する
福島県放課後児童支援員等資質向上研修	令和8年12月ころ	児童支援員	初任者・中堅・専門研修等を受け、資質向上を図る。
全体研修会7「研修等報告会1」	令和9年1月21日	児童支援員	認定資格研修、資質向上研修等の内容を全員で共有する
全体研修会8「研修等報告会2」	令和9年2月25日	児童支援員	認定資格研修、資質向上研修等の内容を全員で共有する
第3回安全委員会	令和9年3月4日	児童支援員	3期分のヒヤリハット事例を持ち寄り、対応を検討する

※認定資格研修、資質向上研修のほか、独自に実施した研修、他の団体主催の研修への参加予定についても記入。

3 危機管理計画

(1) 計画・マニュアル策定状況

計画・マニュアル名	策定状況		
安全計画	<input type="checkbox"/> 令和	年策定予定	<input checked="" type="checkbox"/> 策定済み
防災・防犯マニュアル	<input type="checkbox"/> 令和	年策定予定	<input checked="" type="checkbox"/> 策定済み
事故・ケガ防止マニュアル	<input type="checkbox"/> 令和	年策定予定	<input checked="" type="checkbox"/> 策定済み
苦情対応マニュアル	<input type="checkbox"/> 未策定		<input checked="" type="checkbox"/> 策定済み

上記以外で今年度策定予定の計画・マニュアル

計画・マニュアル名	内容

(2) 訓練計画

ア 防災・防犯訓練

訓練名	種別	実施予定月日	内容
避難訓練	防災	9月4日	地震を想定しての訓練を行う
避難訓練	防災	3月5日	地震を想定しての訓練を行う

イ その他訓練

訓練名	実施予定月日	内容

4 施設管理計画

(1) 保守・点検計画

設備等	再委託	再委託事業者	実施予定月日または頻度					備考
警備設備	日常	無		毎日				職員による点検
	定期	有	アルソック警備保障(株)					
消防設備	日常	無		週1				職員による点検
	定期	無						
電気工作物	日常	無						職員による点検
	定期	無						
冷暖房機器	日常	無		毎日				職員による点検
	定期	有	東北エアコン(株)					
事務機器等	日常	無		毎日				職員による点検
	定期							

6 利用者評価・自己評価の実施予定

(1) 利用者評価

実施予定の有無	有	調査予定月日	回答者	回答方法	結果の周知・公表	評価結果の周知・公表先		
		9月1日～7日	保護者	回答用紙の提出	予定している	<input checked="" type="checkbox"/> 職員	<input checked="" type="checkbox"/> 児童・保護者	<input checked="" type="checkbox"/> 外部（地域など）
		9月1日～7日	児童	回答用紙の提出	予定している	<input checked="" type="checkbox"/> 職員	<input checked="" type="checkbox"/> 児童・保護者	<input checked="" type="checkbox"/> 外部（地域など）
						<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部（地域など）
						<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部（地域など）

(2) 自己評価

実施予定の有無		調査予定月日	回答者	回答方法	結果の周知・公表	評価結果の周知・公表先		
		令和8年9月30日	支援員	回答用紙の提出	予定していない	<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部（地域など）
		令和9年1月29日	支援員	回答用紙の提出	予定していない	<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部（地域など）
		令和9年3月6日	主任支援員	回答用紙の提出	予定している	<input checked="" type="checkbox"/> 職員	<input checked="" type="checkbox"/> 児童・保護者	<input checked="" type="checkbox"/> 外部（地域など）
						<input type="checkbox"/> 職員	<input type="checkbox"/> 児童・保護者	<input type="checkbox"/> 外部（地域など）

7 特記事項

特になし

令和8年度 ほたるの里事業計画

【特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス】

I、施設理念

「四季おりおりの自分の花を咲かせて」

自然豊かで立地に恵まれたこの場所で、命いっぱい自分の花を咲かせ、ご利用者が安心して、明るく個性豊かな老後を過ごせる環境の実現に向けた施設運営を目指します。

II、基本方針

(施設理念である「安心して、明るく個性豊かな老後を過ごせる環境の実現」を目標とし、ユニットケアの特性を生かし、ご利用者のさまざまな希望に応えられる施設運営を目指します。また、市町村やボランティア団体等と綿密な連携を図り、施設が地域の中核施設となり、地域に根ざし開かれた施設運営を目指します。

III、施設運営

【稼働状況】

・特別養護老人ホーム	80 床
・ショートステイ	10 床
・デイサービス	12 名/日

【目標稼働率】

・特別養護老人ホーム	96 %
・ショートステイ	96 %
・デイサービス	75 %

【重点目標】

「特徴ある施設作りを考え、選ばれる施設を目指す」

1、利用者処遇

(1) 看取りケアの充実

- ① ご家族を対象に、看取りケアの指針について説明会を行う。
- ② 日ごろからご利用者の情報収集に努め、ご家族とも密にコミュニケーションを取る。
- ③ ご家族と過ごす時間を十分に確保できるような面会方法を提供する。
- ④ 嘱託医が看取り期まで寄り添うことで、ご利用者ご家族ともにサポートできる環境を提供する。
- ⑤ 各職種ごと、看取りケアの質の向上を目指す。

(2) 楽しみのある生活を提供し、外部へも情報を発信する。

- ① 各年代の児童・学生やボランティアを積極的に受け入れ、地域との繋がりを持つ。
- ② 日々の余暇時間や季節の行事を充実させる。
- ③ ご利用者の日常の様子を広報誌やInstagramで公開する。

(3) 長寿ならではの「歳祝い」を充実させる。

- ① ご利用者の自分史やほたるの里での生活を紹介し、これまでを振り返る機会をつくる。
- ② オンライン等を活用しながら、ご家族参加型のお祝いを企画する。

(4) 特徴あるユニットづくり

ユニットごとに、ご利用者の叶えたいことをアンケート調査し、望みを叶える企画を実行する。

(5) 個別ケアの充実

- ① 顔なじみの嘱託医が診療をすることで、安心して生活できる環境を提供する。
急変時には協力医療機関も受診できる体制とし、迅速且つ適切な対応をしていく。
 - ② 歯科医師または歯科衛生士と連携の充実を図り、日常的な口腔衛生の管理と摂食支援を行うことで、安全に経口摂取できるよう支援する。
 - ③ 機能訓練・口腔管理・栄養管理を一体的に行い、QOLの維持を図る。
 - ④ 各部署間で報告・連絡・相談を密に行い、変化に応じてカンファレンスを実施することで質の高いケアを実現できるようにする。
 - ⑤ LIFE・個人単位で作成する24時間シートを活用し、多職種が連携して、ご利用者の自立支援・重度化防止に取り組む。
 - ⑥ 介護ロボットを使用することで、個人の生活スタイルを把握し、個別ケアの充実を図る。
- (6) 管理栄養士による栄養管理のもと、季節感のある食事を提供することで食の楽しみを充実させるとともに、ご利用者参加型の食事やおやつレクを充実させる。
- (7) ご家族面会は、感染まん延防止策を取りつつ、ご利用者に合った方法を選択し、ご利用者とご家族の繋がりを重視する。
- (8) 通知文の送付、ご利用者個人の様子を伝える手紙の送付、ホームページのコンテンツの充実等、情報発信を密にし、ご家族との信頼関係の構築に努める。
- (9) BCPについてご家族へ向けて説明会を開催し、災害時の対応方法について周知する。

2、職員の確保、育成、定着

- (1) 外国人雇用を積極的に行い、人材不足の解消につなげる。
- (2) 全床見守り機器を導入して業務の効率化を図り、職員の負担軽減を図る。
- (3) 支援員と業務内容を分担することで、介護職員がケアに専念できる環境を目指す。
- (4) SNS上で、ICTを活用している職場内の様子や、日常生活の様子を発信することで、福祉の仕事に興味を持ってもらい、職員の確保に繋げる。
- (5) 年間予定に基づいて職員研修を実施する。職員が自己研鑽に励むことの出来る場を設け、サービスの質の向上を目指す。
- (6) 産業医の指導に基づき、メンタルヘルスケアや職員の健康管理を行う。
- (7) 対象者に対し、認知症介護基礎研修や外部研修の受講を計画的に進めていく。
- (8) 福利厚生を充実を図り、働きやすい職場づくりの推進に努める。
- (9) ハラスメント対策として、研修を行うことで予防策・対応策について理解を深め、安心して働くことのできる職場環境を作る。

3、運営

(1) 稼働率向上を図る

① 特養稼働率 96%

入院予防、空床軽減、待機場所に合わせた入所手続きの方法を工夫し空床期間を短縮する。

② ショート稼働率 96%

・ 居宅ケアマネ等と情報を密に取り、新規および定期利用者の確保に努め、併せて特養の空床利用を有効活用する。

・ 特養と合わせた総ベッド数に対しての稼働率を意識して運用する。

③ デイサービス稼働率 75%

送迎を含む業務分担を図ることで、新規利用者確保やご利用者の満足度向上に繋げる。

(2) 機能訓練強化加算・看取り介護加算・栄養マネジメント強化加算等、算定を目指す。

(3) ご家族との関係をより深めるため、説明会を開催する。

(4) 補助金を活用しながら計画的に修繕管理を行う。

(5) 節約・節電の徹底。

(6) ホームページの随時更新と、施設だよりの発行、SNSを用いて情報の積極的な公開を行う。

4、防災計画

(1) 防災のためのハード対策

① 立地条件と災害の予測に基づく防災マップの確認。

② 防災設備・備蓄品の管理を行う。

(2) 防災のためのソフト対策

① 防災対策組織・マニュアル・緊急連絡網を随時更新する。

② ICTを活用した連絡体制を整える。

③ 有事に備え、ご利用者の個別情報の整理と特性に応じた配慮について準備・更新を行う。

④ 避難訓練・消防訓練を実施し、事業継続計画の作成・見直しを行う。

⑤ 地域とのネットワークづくりに努め、避難場所としての役割を持ち、相互支援が行える環境を構築する。

5、感染症対策

(1) 感染症対策に要する物品の定期的な確認。

(2) 嘱託医・感染症委員会を中心とした、実践形式の研修の実施。

(3) 感染症対策マニュアルの定期的な見直し。

(4) 感染症対策の変化に応じ、迅速に施設としての方針決定と対応をする。

(5) 感染予防と初動対応を徹底し、まん延防止に努める。

6、事業継続計画（BCP）

(1) 平時からの備えとして、体制の見直し、備蓄品の確保等を行う。

(2) 事業継続計画についての周知と必要な研修および訓練を定期的に行う。

(3) 定期的に計画の見直しを行い、必要に応じて変更をする。

(4) 他施設・地域との連携を図るため、協力体制の構築に努める。

7、各事業別事業計画詳細

※ 別紙参照

令和8年度 ほたるの里事業所別事業計画

事業所・ユニット名

特別養護老人ホームほたるの里（全体）

1.目標

- (1) その人らしい暮らしを実現するため、一人ひとりに合わせたサービスを提供する。
 (2) 安心して暮らせる施設づくりをする。

2.事業計画達成のための業務目標

項目	目標	実施内容（詳細）
稼働	平均稼働率96%の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・他職種や他機関との関係を構築し、入所者確保に向けた働きかけを行う。 ・入院予防への取り組みと、入院理由の分析と対策を行うことで空床を減らす。
	専門性を活かし、ご利用者の健康管理を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・介護看護職員の気づきをふまえ、体調の変化に早期に気づいて対応することで、重度化防止を図る。 ・口腔体操や軽体操に取り組み、日々の体調管理とADLの維持を目指す。
業務	特色・楽しみのある施設づくりを行う	<ul style="list-style-type: none"> ・各ユニット毎に、ご利用者が望む、やりたいことを叶える機会を設ける。 ・余暇活動や季節の行事を充実させる。
	食を楽しめるように支援する	<ul style="list-style-type: none"> ・季節感を大切にし見た目も楽しめる食事の提供 ・誕生会やおやつレクを充実させる。 ・活気ある食事風景となるような工夫をする。
接遇	ケアの質の向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランに沿った内容を実践し、個性性の高いケアを提供する。 ・他職種間のコミュニケーションの円滑化によるケア内容の改善と充実を目指す。
	安心して暮らせる環境の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者一人ひとりに必要なケアを考え、住環境を含めて配慮のある生活の場を提供する。
人材	専門性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者本位の考え方や施設理念を定期的に学ぶ機会を設ける。 ・研修の機会を設け、資質の向上を目指す。
	人材の確保と定着を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して働ける職場づくりに取り組む。 （休暇の取りやすさ・多様な働き方の推進・心身の健康管理） ・ICTを活用し業務の負担軽減と生産性の向上を図る。 ・ケアの好事例を全職種で共有する機会を設ける。

令和8年度 ほたるの里事業所別事業計画

事業所・ユニット名

特別養護老人ホームほたるの里 春（さくら／すみれ）

1.目標

- (1) 日常生活動作（ADL）が低下する事なく、現状維持が出来るよう支援する。
- (2) 職員の技術や意識の向上に努め、みんなで働きやすい職場を作る。

2.事業計画達成のための業務目標

項目	目 標	実施内容（詳細）
ユ ニ ツ ト 方 針	さ く ら	<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態の観察をする。 ・身体に負担を掛けないようなケアを行う。
	す み れ	<ul style="list-style-type: none"> ・重度のご利用者が多いため、表情等で痛みや苦痛、発熱などの体調不良を読み取っていく。 ・定期的な体位変換を行い安楽な姿勢をとっていく。
業 務	さ く ら	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の身だしなみに注意し清潔が保てるように支援していく。 ・毎日の日頃の対応をケース入力する。 ・入浴時他、常日頃から整容に気を付けて清潔にする。
	す み れ	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携の促進 ・ケアプランを通して介護・医療・事務が連携しご利用者の生活を支える。 ・報連相を密に行う。
接 遇	さ く ら	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の現状維持 ・誤嚥に気を付ける ・1人1人を24hシートで把握し24hシートの作成・更新を行う。 ・ADLの維持に努める。
	す み れ	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者に寄り添った介護サービスを提供する ・ご利用者への言葉遣い、ケアを行う時の表情・伝え方を意識して介護を行うようにする。 ・業務最中でも傾聴対応する。
人 材	さ く ら	<ul style="list-style-type: none"> ・季節を感じられる活動日々の楽しさや役割を提供する ・季節の行事に参加する。 ・レクリエーションを積極的に取り入れた楽しみのある生活の提供。
	す み れ	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修に参加し職員のスキルアップ ・研修に参加し介護技術の向上 ・委員会活動を積極的に行う。 ・各自健康に気をつけて管理する。 ・コミュニケーションを取りやすい環境づくり ・職員の健康管理に努める ・職場環境の改善

令和8年度 ほたるの里事業所別事業計画

事業所・ユニット名

特別養護老人ホームほたるの里 夏（ひなげし／ひまわり）

1.目標

- (1) ご利用者の尊厳ある生活を守り、日々穏やかに過ごせるよう支援して行く。
- (2) ご利用者の安心、安全の生活とADL、QOL維持向上を目指します。

2.事業計画達成のための業務目標

項目	目標	実施内容（詳細）
ユ ニ ツ ト 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者が自分らしく生き生きと生活で出来る。 ・ご利用者が安心、安全に生活することが出来、ADL、QOLの維持向上に努める事が出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者一人ひとりの24Hシートを充実させ、ケアプランに添って個別ケアを実施する。 ・季節行事、おやつレク、毎日の食前体操、軽体操の実施を通してご利用者様同士や職員とのコミュニケーションを計る事が出来るようにする。
業 務	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の希望する生活スタイルに合わせたケアを実施する。 ・体調不良など細やかな変化に気づく事が出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・24Hシートやケアプランを把握し日々の出来事をケースに残し個別ケアを実施する。 ・体調不良時などは特に職員同士の報告・連絡・相談を密にし状況を把握する。また、他職種とも連携を図れるよう、情報の共有を行う。
接 遇	<ul style="list-style-type: none"> ・優しい言葉使い、態度でご利用者に接する。 ・ご利用者に寄り添ったケアを実現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・信頼関係を築く事が出来るよう、優しい言葉、態度で接する。 ・ご利用者の思いを把握し、安心して生活出来るよう取り組んでいく。
人 材	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修や講習会に参加し、職員間で内容等を共有できる。 ・急変時落ち着いて対応出来る 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加して基本的な技術を身につけて、ユニット会議等で勉強会を行う。 ・感染症や急変時に対応出来るよう、フローチャートを確認し把握する。

令和8年度 ほたるの里事業所別事業計画

事業所・ユニット名

特別養護老人ホームほたるの里 秋（おみなえし／なでしこ）

1.目標

- (1) ご利用者のADLの維持向上、24Hシートの更新と介護ケアの統一を図る。
 (2) ご利用者が安心・安全にすごせるような職場環境づくりをする。

2.事業計画達成のための業務目標

項目	目標	実施内容（詳細）
ユニット方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者のADLの維持向上を目指す。 ・ご利用者の健康管理し安心・安全に過ごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス後やご利用者の状態変更時、月末までに居室担当者は24Hシートの更新する。 ・口腔体操や体操・レクにも積極的に参加を促す。 ・ご利用者の健康状態を把握し多職種とも情報を共有する。 ・居室・リビングの整理整頓を行う。
業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者一人ひとり、ユニット職員が統一した介護を提供する。 ・急変時に冷静に対応できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りノート等を活用し、職員間の報連相をしっかりと行う。 ・24Hシートに沿って介護を行う。 ・24Hシート更新時はユニット職員に連絡し、ケアプランに沿った介護をする。 ・研修会に積極的に参加をし、冷静に対応できるスキルをもつ。 ・夜間帯対応のマニュアルも熟知しておく。
接遇	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の症状に応じたケアをする。 ・ご利用者に寄り添った介護をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の症状を理解し、利用者様のケアをユニット職員や他職種と連携し介助する。 ・ユニット会議や職員間の連絡を密にし対応していく。 ・ご利用者とコミュニケーションを大切にし、ご利用者の要望に対応できるようにする。
人材	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のスキルアップを目指す。 ・ストレスなく働きやすい職場にし離職者をなくす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のスキルアップを目指し、研修会への参加・資格取得を目指す。 ・ストレス緩和の為、職員間のコミュニケーションをとり、話しやすい環境を作る。有休取得率の向上を図る。

令和8年度 ほたるの里事業所別事業計画

事業所・ユニット名

特別養護老人ホームほたるの里 冬（すいせん／ひなぎく）

1.目標

- (1) 尊厳ある自分らしい生活の継続・実現の為、ご利用者一人ひとりに合わせて24シートを作成し個別ケアを実践していきます。
- (2) 一人ひとりの笑顔を大切に安心して生活が送れるよう、質の向上を目指します。

2.事業計画達成のための業務目標

項目	目標	実施内容（詳細）
ユ ニ ツ ト 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 尊厳ある生活、自分らしい生活を実現する。 ・ 楽しい時間を日課とすることでADL、QOLの維持と向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご利用者の個性・生活歴・意向を反映した24シートを作成する。 ・ ケアプラン更新時に24シートの内容と実態が合っているか確認・更新する。 ・ ケアプランに基づいた統一した個別ケアを実践する。 ・ 口腔体操・軽体操を行う事でADLの維持と誤嚥性肺炎の予防を図る。 ・ ご利用者の好みを反映したレクリエーションを実践し、楽しい時間を共有することで活動意欲を高めQOLの向上を図る。
業 務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立支援・重度化を防ぐ。 ・ ご利用者一人ひとりに対して統一したケアを提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご利用者の個性や意向を理解し、状況に応じた必要なケアを実践する。 ・ ご利用者の身体状態に合わせたポジショニングを統一し、体圧分散と良肢位の保持により、関節可動域の維持・拘縮・褥瘡予防する。 ・ ケアプランを把握し、24シートを活用してご利用者の個性や意向身体状態に基づいた統一した個別ケアを実践する。
接 遇	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご利用者に寄り添ったケアを実践する。 ・ 認知症を理解したケアを実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 忙しい時でも話し掛けられたら一旦手を止め話に耳を傾けます。 ・ ご利用者の状況・心情に配慮した安心できる環境を作る。 ・ ご利用者一人ひとりの認知症の症状に合わせたケアを実践することでBPSD症状の緩和と進行を防ぐ。
人 材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 急変時でも冷静に対応できる人材を育てる。 ・ 離職者ゼロを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 状況を把握して報告・連絡・相談を行う。 ・ 急変時のフローチャートを把握する。 ・ 定期的に勉強会を行う。 ・ 24シートを活用することで誰でも同じケアをすることができる。業務内容を見直して不安なく従事することができる。

令和8年度 ほたるの里事業所別事業計画

事業所・ユニット名

ショートステイほたるの里

1.目標

- (1) 自宅に近い環境、生活を大事にして安心して過ごせるように努める。
 (2) ご利用者の人格を尊重し、ご利用者の気持ちに寄り添うよう努める。

2.事業計画達成のための業務目標

項目	目標	実施内容（詳細）
稼働	稼働率の向上	・ご利用者、ご家族状況を把握し、居宅との情報交換の機会を積極的に設ける。また、空床にならないよう密な情報発信をし積極的な利用者確保に繋げる。
	ご利用者、ご家族との信頼関係の構築	・申し送り書を確りと活用しご利用者の特変時だけでなく日々の様子を都度報告する。また、ご家族からの情報や要望等をユニット内で共有しケアの統一を図る。
業務	ご利用者の満足度を向上	・季節を感じられる工作や体操を行う。 ・散歩や外への外出を積極的に取り入れて気分転換を図る。 ・新たなレクリエーションを提供する。
	ご利用者をよく観察して記録する	・ご利用者の状態をよく観察し、適切な介護支援を行い分かりやすく記録する。
接遇	ケアの統一を図り、心地良い時間を提供	・ご利用者の言動、想いをくみ取る。更に既往歴やADL状況を把握する事で適切な介護を行い自立支援を促す。
	認知症状を理解したケアの実施	・認知症状を理解し行動を理解することで、不安な気持ちを組み取り、安心出来る環境の提供をする。
人材	職員のスキルアップ	・研修への参加、資格取得を促す。また突発的な状況に応じた対応が出来る職員を育成する。
	緊急時の対応が出来る	・緊急時、落ち着いて対応、行動できる職員の育成を行う。

令和8年度 ほたるの里事業所別事業計画

事業所・ユニット名

デイサービスセンターほたるの里

1.目標

- (1) ご利用者1人1人人格を尊重し、心身のニーズを把握し援助に努める。
 (2) 専門職であるという意識を持ちサービスの質とご利用者の満足度の向上を目指す。

2.事業計画達成のための業務目標

項目	目標	実施内容（詳細）
稼働	新規利用者の獲得	・居宅との情報交換により新規利用者、振替利用者を確保する。
	ご利用者の満足度向上を図る	・業務分担する事で稼働時間を有効に使い、楽しく過ごせる時間を提供する。
業務	転倒事故防止	・1人1人の状況を把握し、見守りの強化を図る。
	季節に合わせたレクリエーションの実施	・季節の壁画飾りの制作、年中行事関連のゲームや外出レクの実施。
接遇	日々の変化にも対応しながらケアの統一を図る	・常に職員同士で情報交換、共有をしご利用者の変化に気づき対応できるよう観察やコミュニケーションを図る。
	ご利用者、家族様、居宅との信頼関係の構築	・送迎時、連絡帳での情報共有と報告。マナーの徹底。また居宅とも情報交換、共有の実施。
人材	離職者ゼロ、働きやすい職場環境とサービスの質の向上を目指す。	・職員自身を含む体調管理に努め、1人1人の職員を大切に働きやすい環境を整える。 ・研修等の参加によりそれぞれの意識の向上、スキルアップに努める。

令和8年度 相談支援事業所ひだまり 特定相談支援・障害児相談支援事業計画書

社会福祉法人うつみね福祉会

1 事業の方針

相談支援事業所ひだまりは、利用者がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者又は障害児の保護者の選択に基づき、適切な障害福祉サービス等が、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して行う。

事業の実施に当たっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービス機関と連携を図り、総合的なサービスの提供に努める。

また、指定相談支援の実施に当たっては、利用者又は障害児の保護者の意思及び人格を尊重し、常に当該利用者又は障害児の保護者の立場に立って、支給決定障害者等に提供される障害福祉サービス等が特定の種類又は特定の障害福祉サービス事業者に不当に偏ることのないよう、公正中立におこなわれるように努める。

上記の他、関係法令等を遵守し、事業を実施する。

2 事業所名及び所在地

- (1) 名称 相談支援事業所ひだまり
- (2) 所在地 福島県須賀川市小作田字仲田23番地1

3 従業者の人数

管理者兼相談支援専門員 1名（児童クラブ館長兼務）
相談支援専門員 3名（常勤専任）

4 契約利用予定者数

令和8年4月～令和9年3月
延べ契約利用予定者数 529名

5 サービス提供予定時間

1件当たり 13.3時間（880日×8時間÷484名）

6 収支予算書

別紙のとおり

7 事業概要

(1) 生活全般に係る相談

- ア 生活全般に関する相談
- イ サービスの利用意向（現在のサービス）
- ウ 解決すべき課題の整理

(2) 地域の障害福祉サービス事業者等の情報提供

- ア サービス担当者会議の開催
- イ 複数サービスに共通の支援目標の確認
- ウ サービスの役割分担

(3) サービス利用計画（児童支援利用計画）の作成

- ア 生活に対する意向の確認
- イ 総合的な支援の方針等の策定
- ウ 各種サービスの種類、内容、支給量の検討及び調整

(4) 訪問によるモニタリング

- ア 本人の意向の確認
- イ 計画の達成状況の確認
- ウ サービス提供状況の確認・修正

(5) 前各号に掲げる便宜に附帯する便宜

- (1)から(4)に附帯するその他必要な相談支援、助言等。

8 事業を行う地域

須賀川市、鏡石町、天栄村

（他、福島市、田村市、三春町、玉川村、会津若松市、会津坂下町、富岡町）

9 対象者

- (1) 身体障害者
- (2) 知的障害者
- (3) 精神障害者
- (4) 障害児
- (5) 難病等対象者

10 相談日及び相談時間

- (1) 相談日 月曜日から金曜日（国民の祝日、年末年始は除く）
- (2) 相談時間 8時30分から17時15分

収支予算書

令和8年度 収入見込額(相談支援事業所ひだまり)

(単位：千円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
収入見込み	計画作成見込数	児童	26人	6人	15人	16人	13人	14人	17人	15人	19人	20人	22人	18人	201人
		成人	6人	3人	3人	11人	9人	7人	6人	5人	6人	0人	1人	4人	61人
	モニタリング見込数	児童	15人	19人	20人	22人	18人	11人	6人	15人	16人	19人	18人	17人	196人
		成人	5人	5人	0人	1人	4人	6人	3人	3人	11人	13人	14人	6人	71人
	利用者計		52人	33人	38人	50人	44人	38人	32人	38人	52人	52人	55人	45人	529人
	利用計画作成額 (1人当たり)	児童	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	
		成人	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	
	モニタリング額 (1人当たり)	児童	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	
		成人	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	
	相談支援給付費	児童	546	126	315	336	273	294	357	315	399	420	462	378	4,221
		成人	114	57	57	209	171	133	114	95	114	0	19	76	1,159
	モニタリング 給付費	児童	270	342	360	396	324	198	108	270	288	342	324	306	3,528
		成人	80	80	0	16	64	96	48	48	176	208	224	96	1,136
	体制加算分		93	59	68	90	79	68	57	68	93	93	99	81	948
合計(A)		1,103	664	800	1,047	911	789	684	796	1,070	1,063	1,128	937	10,992	

※ 相談支援給付費は、区市町村に請求した月の翌月に振り込まれます。

※ 児童の利用計画作成額は、基本額21,010円（常勤3名、強化型利用支援Ⅱ）となります。（Ⅲは20,160円）

※ 成人の利用計画作成額は、基本額19,140円（常勤3名、強化型利用支援Ⅱ）となります。（Ⅲは18,220円）

※ 児童のモニタリング額は、基本額17,960円（常勤3名、強化型継続支援Ⅱ）となります。（Ⅲは16,990円）

※ 成人のモニタリング額は、基本額16,610円（常勤3名、強化型継続支援Ⅱ）となります。（Ⅲは15,580円）

※ その他、全ての計画に「計画相談要医療児者支援体制加算」（600円）「計画相談精神障害者支援体制加算」（600円）

「高次脳機能障害児者支援体制加算」（600円）（令和8年3月分より加算）が加算されます。

令和8年度 うつみね診療所事業計画

【うつみね診療所理念】

訪問診療を通じて、患者さんだけでなくご家族もサポートし、ご自宅での安心で快適な生活を実現します。

1. 事業方針

- (1) うつみね診療所は、開設4年目を迎え、訪問診療を中心とする医療を展開、外来診療も担い、地域医療へのかかわりを拡充していきます。
- (2) 在宅訪問診療として、地域包括ケアシステムの中心的役割を担い、地域住民のために、病院へ通院困難な患者さんが自宅生活を基盤とした暮らしが続けられるように支援していきます。
 - ・自宅へ定期的に訪問し、診療、治療、薬の処方、服薬指導や健康相談などを行っていきます。
 - ・緊急往診や入院手配の対応、自宅で最期を迎えたい人の在宅看取りを行っていきます。
- (3) 他の医療機関、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、介護保険事業所、行政等との連携を密に図っていきます。
- (4) 外来診療を担い、地域の皆さまが安心して生活を送れるように支援していきます。

2. 活動内容

- (1) 計画的に医療サービスを提供していきます。

通院が困難な患者様のもとに、医師と看護師が定期的に訪問し、計画的に診療、看護、健康管理を行います。
- (2) 緊急の往診や入院対応、在宅看取りに対応します。
- (3) 他の医療機関や訪問看護ステーション、介護支援事業所など、密に連携を図り在宅医療を提供します。

3. 診療所及び所在地

- (1) 名称 社会福祉法人うつみね福祉会うつみね診療所
- (2) 所在地 須賀川市小作田字仲田2 3 番地 3

4. 職員体制

管理者兼診療従事医師 1名

- ・日本医師会認定産業医
- ・総合診療科特任指導医認定
- ・オンライン診療認定医
- ・難病医療機関指定・難病指定医

看護師 2名

5. 事業概要

(1) 在宅訪問診療

ア. 在宅訪問診療地域

須賀川市・鏡石町・天栄村・石川町・玉川村

イ. 在宅訪問診療患者新規契約目標数

36件/年

(2) 外来診療

ア. 外来診療受診患者目標数

360件/年

(3) 予防接種事業

- ・インフルエンザワクチン・肺炎球菌ワクチン・带状疱疹ワクチン
- ・コロナワクチン接種

(4) 医療機関との連携

- ア. 公立岩瀬病院
- イ. 池田記念病院
- ウ. 太田西ノ内病院
- エ. その他

(4) 委託事業

ア. 施設訪問診療

「ほたるの里」全体4ユニットで入居者、約80名を担当する。

訪問日：毎週木曜日

内容：診療、治療、処置、内服薬等処方、面談及び病状説明

担当1ユニット20名のほかに臨時診察数名の利用者を診る。

予防接種：インフルエンザワクチン・コロナワクチン接種等の実施

イ. 校医訪問 今年度も事業継続する。

「県立須賀川創英館高校」

訪問日：年10回予定

内容：内科検診 ・衛生委員会 ・学校保健委員会

ウ. 産業医訪問継続事業

- (ア) 釜屋
- (イ) 釜屋リサイクルセンター
- (ウ) アルファ電子
- (エ) ニューワーク情報サービス有限公司

エ. 外部委員会

- (ア) 介護認定審査委員会
- (イ) 須賀川医師会夜間救急当番

オ. 地域支援

- (ア) ウルトラFM「病院ラジオ」毎週金曜日10:00am
- (イ) 講演会を積極的に受けていく。
- (ウ) 研修会への参加。

6、今年度の抱負

在宅訪問診療を中心に地域医療の役割を担い、診療を通し患者や家族からの医療に関する相談や、さらには訪問看護師からの要請にも24時間随時対応していきます。

特に、継続的に医療ケアが必要な方に対しては、日頃の少しの体調の変化を把握し切れ目のない継続的な相談対応にも心がけていきます。

今年度も、紹介されたケースには、これまで通り断ることなく積極的に受けていきます。

また、がん末期患者さんの終末期ケースにも速やかな対応をとり、今後も、地域の患者さんの在宅療養に努めて参ります。